

日本伝熱学会関西支部 第20期 第2回講演討論会

日 時：平成25年7月30日（火）13:30～16:50

会 場：神戸大学六甲台キャンパス 社会科学系アカデミア館 404 室

「微小重力下における沸騰・二相流」

河南 治 氏（兵庫県大学大学院工学研究科）

沸騰熱伝達の総合的な理解のために、航空機内で行われた微小重力環境下における沸騰実験について、ご自身の体験談を交えて紹介して頂きました。また、国際宇宙ステーションでの沸騰・二相流実験に向けた展望についても紹介して頂きました。

「液体燃料の蒸発および燃焼に関する数値解析」

黒瀬 良一 氏（京都大学大学院工学研究科）

液体燃料の蒸発や燃焼といった現象の数値シミュレーションに関して、特に燃焼計算における乱流モデルと乱流燃焼モデルの重要性について説明頂き、現在行っている詳細な計算結果および現象解明に向けた課題点について紹介して頂きました。

「PWRの熱水力設計について」

淀 忠勝 氏（三菱重工業株式会社）

加圧水型原子炉の熱水力設計の概要および DNB 相関式の重要について説明頂き、実機条件で得られた DNB データベースと新しく開発した DNB 評価式との比較および燃料集合体の設計や解析コード開発の現状に関して紹介して頂きました。

「カーボンナノ繊維をハイブリッド分散させたアルミニウム基高熱伝導性複合材料」

垣辻 篤 氏（大阪府立産業技術総合研究所）

アルミニウムをマトリックスとし、気相成長炭素繊維ならびにカーボンナノチューブを組織制御しつつ分散させた複合材料を作製し、材料の生成方法や熱伝導率向上のための取り組みについて講演して頂きました。

参加者数：65名

講演討論会終了後、講演者をお招きし、和風レストラン「さくら」にて活発な意見交換を行いました。
意見交換会参加者数：24名



集合写真